



招提小だより

特別号

枚方市立招提小学校 令和5年度学校だより 令和5年9月11日

授業アンケートの結果について

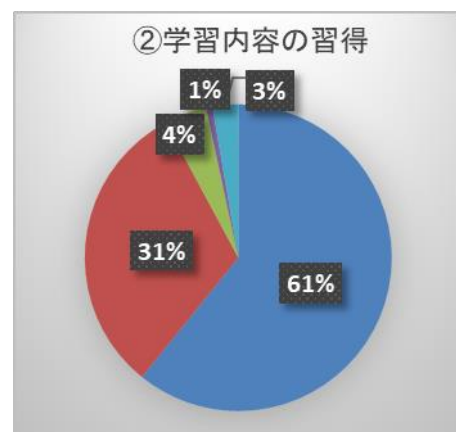
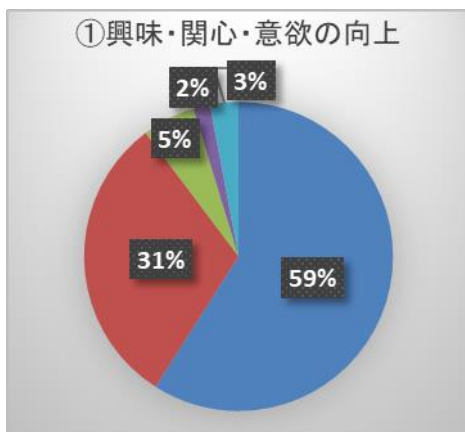
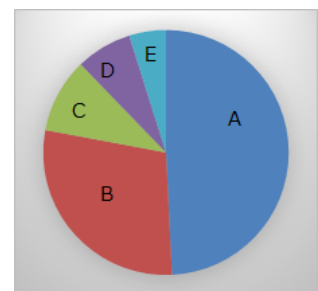
1学期末に実施いたしました授業アンケートにつきまして、のべ307名(83.2%)の保護者の皆様からご回答をいただきました。ご協力に感謝いたします。今回のアンケート結果につきまして、下記のとおりお知らせします。

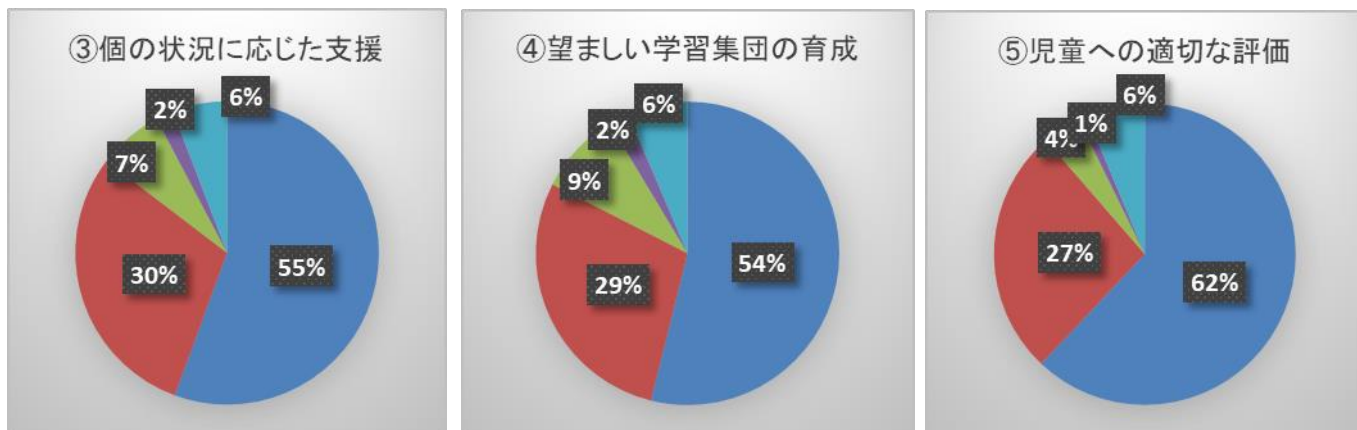
1. 授業アンケートの観点

観 点	質 問 内 容
①興味・関心・意欲の向上	お子さまは、授業を受けて、その内容に興味や関心や意欲を持つようになっていきますか。
②学習内容の習得	お子さまは、授業の内容が分かるようになっていきますか。
③個の状況に応じた支援	お子さまは、授業で分からないときやもっと知りたいとき、そのことについて教えてもらっていますか。
④望ましい学習集団の育成	お子さまは、授業の質問や発表などがしやすい雰囲気だと感じていますか。
⑤児童への適切な評価	お子さまは、授業で頑張ったことを認めてもらえたと思っていますか。

2. 観点の評価の内訳

A: そう思う B: だいたいそう思う
C: あまりそう思わない D: 思わない E: 無回答





今回実施いたしました授業アンケートの5つのそれぞれの観点における肯定的回答（「A:そう思う」と「B:だいたいそう思う」の合計）が全体の83~92%（平均87.8）あり、すべての観点で、昨年度の肯定的回答の数値と同等、または上回りました。加えて、「A:そう思う」（より強い肯定）の回答がすべての観点で2ポイント以上の上昇が見られ、概ね良好な結果であったといえます。

最も上昇幅が大きかった「⑤児童への適切な評価」については、昨年度の結果を6ポイント上回りました。児童の頑張りを認め評価することは、学校としてめざす児童のあるべき姿に近づける第一歩であると考えています。次いで上昇幅が大きかったのは、「①興味・関心・意欲の向上」で、昨年度より5ポイント上昇しています。本校が継続的に取り組んでいる授業改善の成果の現れでもあると考えられます。子どもたちのやる気を引き出す工夫につながり、より望ましい学習集団の形成に近づけているからではないかと思えます。今後もブレずに学校として授業改善に取り組み、さらに推し進めていきたいと思えます。あわせて、これまで以上に「『Hirakata 授業スタンダード』に基づいた授業づくりに取り組み、タブレット端末をはじめ、ICTを活用するなどの「わかる授業」づくりの研究を推進していきます。

「②学習内容の習得」「④望ましい学習集団の形成」については、肯定的な回答の割合はほぼ昨年度変わりありませんが、「A:そう思う」（より強い肯定）がそれぞれ昨年度より5ポイント、4ポイント上昇しています。引き続きより高いところをめざし、高い水準を維持できるよう課題意識を持って取り組んでいきたいと思えます。「③個の状況に応じた支援」については、支援学級等の個別指導はもとより、専科指導により子どもを複数の教員の目で見ることや学級での一斉指導において、一層きめ細かい指導により子ども一人ひとりが成長を実感できる取組を進めていきます。

そのため、本校の「学力向上プラン」に基づき、以下の取組を推し進め学力向上に努めます。

- (1) 授業規律を高め、学習に意欲的に取り組む学級集団づくりを行います。
- (2) 基礎・基本の定着を軸として、ICTを活用するなど、宿題や家庭学習の定着をご家庭と連携しながら進めます。
- (3) 授業研究や教員研修等を通して、教員一人ひとりの授業力向上に努めます。また、ICT等を活用するなど、わかる授業づくりをめざします。
- (4) 個の状況に応じた支援の充実を図るため、少人数学級編制や高学年での専科指導を最大限活かすよう教材や授業計画の工夫に取り組みます。

今後とも本校教育にご理解とご支援をよろしくお願いいたします。